

相馬福島道路(霊山～福島)
桑折高架橋(仮称)の着工式のお知らせ

相馬福島道路(霊山～福島)は平成26年9月28日に起工式を開催し、現在、設計・用地買収及び工事を鋭意進めております。

この度、相馬福島道路において最長となる「桑折高架橋(仮称) L=1,218m」の下部工に着手するにあたり受注者主催による着工式を執り行います。

なお、桑折高架橋の着手(桑折町)により相馬福島道路沿線自治体全ての区間において着手することとなります。

相馬福島道路は、常磐自動車道と東北縦貫自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクト(復興支援道路)として位置づけられています。

また、相馬福島道路の開通により、平時においては地域の暮らしや産業を支えるとともに、災害時には緊急輸送道路としての信頼性向上が期待されます。【別紙3参照】

記

- 日時：平成28年5月16日(月)9:00～
安全祈願祭：9:00～ 工事着工式：9:30～
- 場所：福島県伊達郡桑折町字東向田地内【別紙1参照】
- 主催：桑折高架橋東向田地区下部工工事(戸田建設(株)東北支店)
桑折高架橋界地区下部工工事(青木あすなる建設(株)東北支店)
- 内容：安全祈願祭、工事着工式(発注者挨拶、祝辞、橋脚掘削開始式など)
【別紙2参照】
- 桑折高架橋(仮称)の概要
橋梁形式：(3径間+5径間+4径間+3径間+4径間)連続鋼箱桁橋
延長：1,218m
幅員：12.0m(1.75+3.5+1.5+3.5+1.75)本線標準部
車線数：2車線

【発表記者会：福島県政記者クラブ、福島市政記者クラブ】

問い合わせ先

《事業に関すること》

国土交通省 東北地方整備局 福島河川国道事務所 電話 024-546-4331(代)
副所長 佐野 智樹 (内線205)
工務第二課長 小山田 桂夫 (内線411)

《式典に関すること》

戸田建設(株) 東向田地区下部工工事事務所 電話 024-572-3165
現場代理人 二宮 龍平

桑折高架橋（仮称）着工式次第

日時：平成28年5月16日(月)

9:00～10:00

会場：桑折高架橋P10橋脚

主催：戸田建設(株)東北支店

青木あすなろ建設(株)東北支店

安全祈願（神事） 9:00～9:30

一、玉串奉奠

着工式 9:30～10:00

一、開式

一、式辞

一、祝辞

一、事業概要説明

一、施工開始号令

場所打ち杭掘削機による掘削開始

一、謝辞

一、安全宣言

一、閉会

【復興支援道路】 一般国道115号 相馬福島道路の概要

別紙3

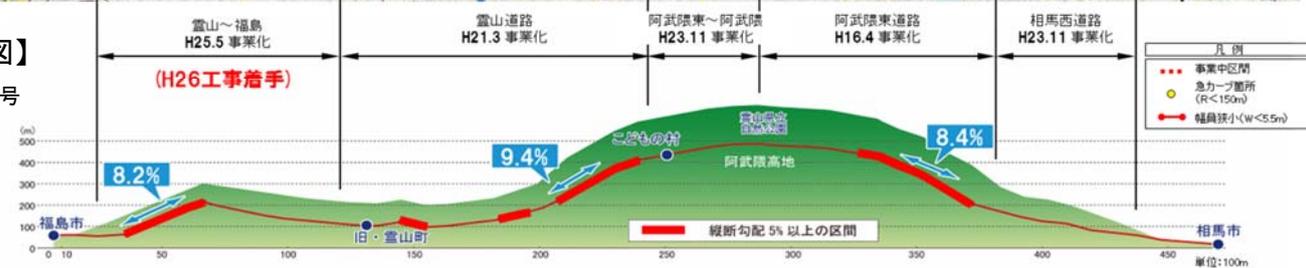
相馬福島道路は、常磐自動車道と東北自動車道を結ぶ約45kmの自動車専用道路(無料)であり、東日本大震災からの早期復興を図るリーディングプロジェクトとして位置づけられています。

【平面図】



【縦断面図】

国道115号



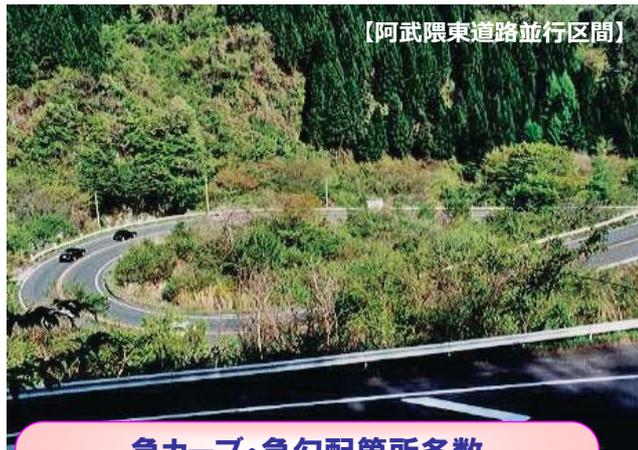
国道115号 相馬～福島間の現状の課題



大型車同士のすれ違いが困難



緊急車両の走行に支障

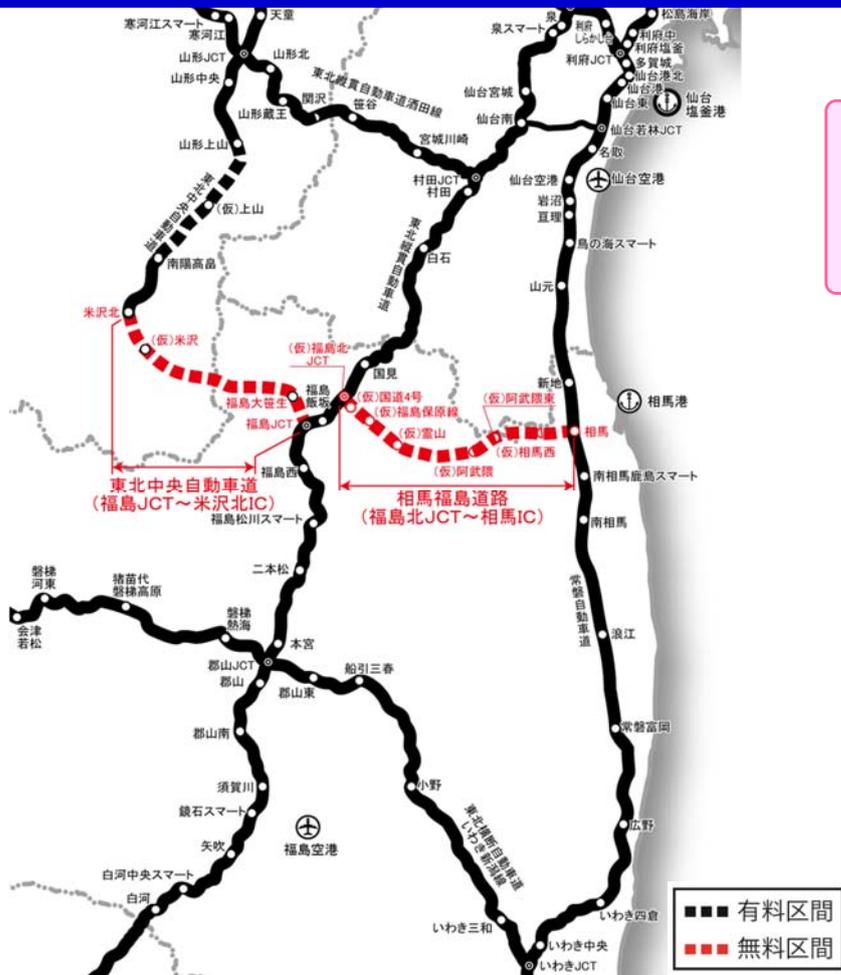


急カーブ・急勾配箇所多数



沿線住民の安全な生活に支障

メリット① 通勤時間が大幅に短縮 福島⇔相馬間が身近に！



はしご状の高速道路ネットワークを形成し、効率的な交通経路の選択が可能に

福島飯坂 I C ⇔ 相馬市役所間

整備前 整備後
76分 → 41分
 (35分短縮)

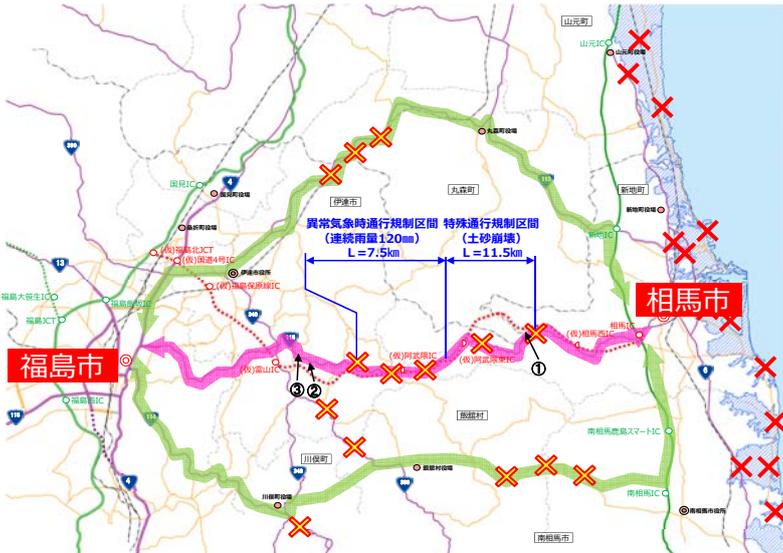
【参考】

米沢市(米沢IC)⇔福島市(福島大笹生IC)間

整備前 整備後
40分 → 20分
 (20分短縮)

メリット② 悪天候や災害時においても寸断されない信頼性を確保

▼相馬市～福島市間の緊急輸送道路は国道115号のみ



国道115号は、災害等による通行止めが頻発
 (通行止18回/17年)
 ※H11～H27

道路崩落により寸断された国道
 国道115号 伊達市霊山町石田
 (H27.9)



約1週間の通行止め

落石等により寸断された国道
 国道115号 相馬市山上
 (H18.6)



約1ヶ月間の通行止め

豪雪により寸断された国道
 国道115号 伊達市霊山町石田
 (H26.2)

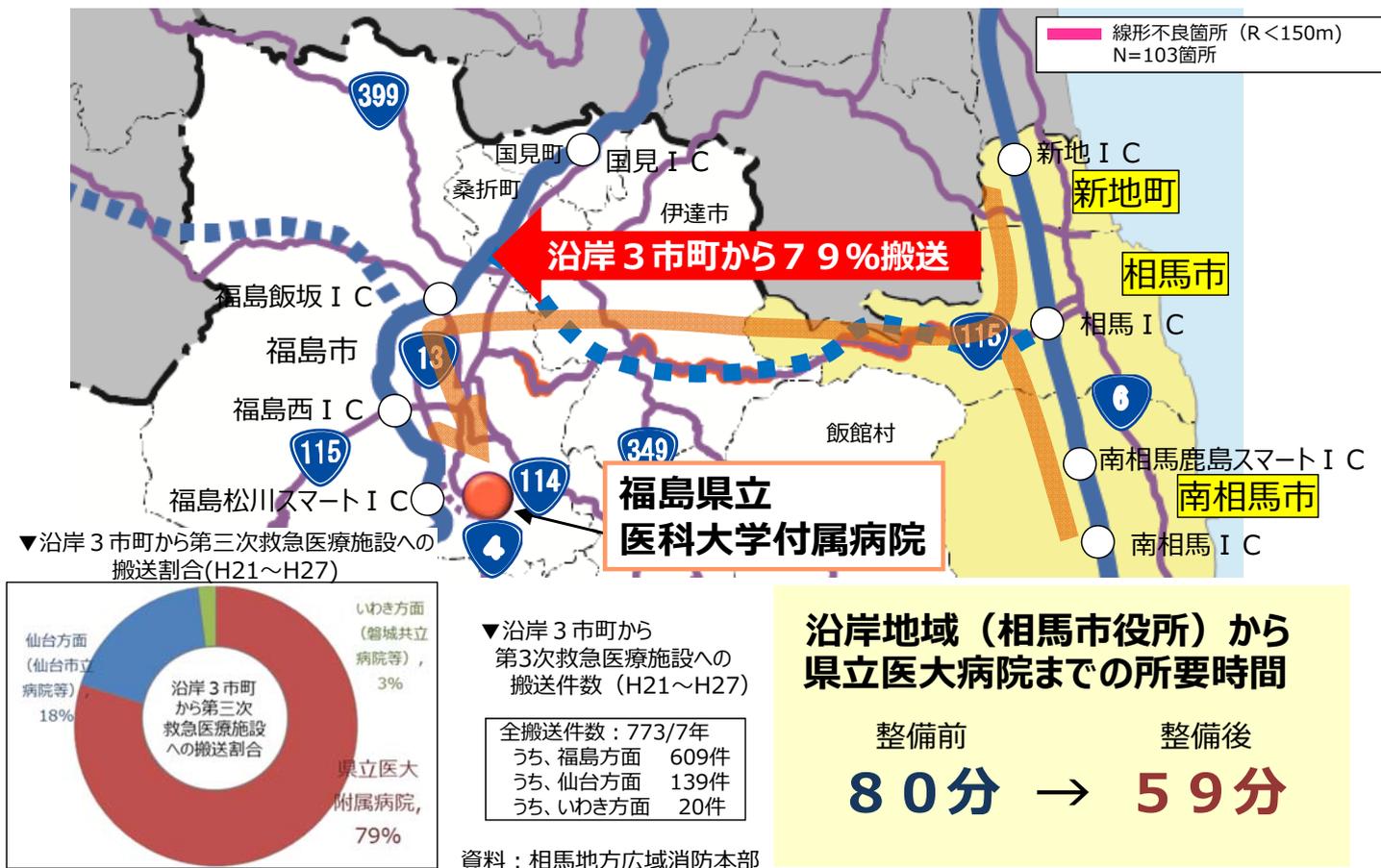


約1日間の通行止め

- 【凡例】
- 主経路
 - 迂回路
 - 通行止めリスク (事前通行規制区間等)
 - 通行止めリスク (津波浸水)
 - 津波浸水区域

メリット③ 救急医療の支援

急カーブや急勾配の回避により患者への負担が軽減され、安心・安全な救急医療を支援



メリット④ 地域経済を支援

相馬港を活用した輸送効率化を図り、企業活動の活性化を支援

《輸送コスト削減の事例》

鑄造用並びに製鋼用鉄源を扱う二本松市のI社は、銑鉄の輸送にあたって相馬港を活用し、輸送費の安い海上輸送をメインの輸送方法に切り替えることで、大幅なコストダウンを実現

2,000円/t
のコスト削減

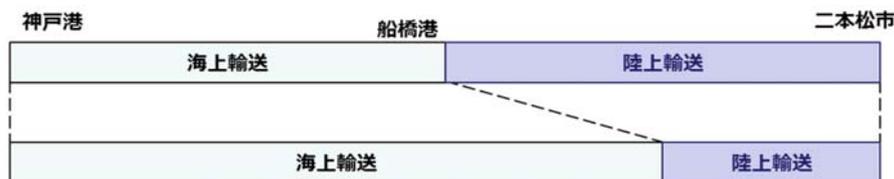


輸送方法の切り替えイメージ



before

after



相馬港